

# 宮城県商工会 地区中小企業景況調査報告書

2019年10月～12月期

## 目 次

1. 県下産業全体の景況 .....	2
(1) 主要景況項目のあらまし .....	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし .....	3
(3) 今後の見通しについて .....	4
2. 県下産業別の景況 .....	5
(1) 製造業の動向 .....	5
(2) 建設業の動向 .....	8
(3) 小売業の動向 .....	11
(4) サービス業の動向 .....	14

2020年1月

宮城県商工会連合会

# 中小企業景況調査報告書

2019年10月～12月

## [調査要領]

### 1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区  
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、くろかわ商工会、加美商工会、遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、石巻かほく商工会、本吉唐桑商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 149企業

### 2. 調査対象期間

2019年10月～12月期を対象として、調査時点は2019年11月15日とした。

### 3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

### 4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	32
建 設 業	25
小 売 業	44
サービス業	48
合 計	149

### 5. そ の 他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

# 1. 県下産業全体の景況

## (1) 主要景況項目のあらまし

### ① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2019年10月～12月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より2.5ポイントの改善で△38.1(前期△40.6)となった。産業別にみると、製造業が△37.5(前期△54.9)と17.4ポイント改善、建設業で△28.0(前期△30.8)と2.8ポイント改善、小売業で△61.4(前期△48.9)と△12.5ポイント悪化、サービス業では△21.8(前期△28.9)と7.1ポイントの改善となった。

来期見通しについては、産業全体(全産業)としては改善の見通しである。産業別でも、全業種で改善の見通しである。

表一1 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 40.6	△ 38.1	△ 32.0
製造業	△ 54.9	△ 37.5	△ 28.1
建設業	△ 30.8	△ 28.0	△ 24.0
小売業	△ 48.9	△ 61.4	△ 52.3
サービス業	△ 28.9	△ 21.8	△ 19.5

### ② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業では6.2%で前期比△9.9ポイント減少、建設業では16.0%で前期比4.5ポイント増加、小売業では9.1%で前期比△2.8ポイントの減少、サービス業では16.7%と前期比1.8ポイントの増加であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業で増加、建設業で減少、小売業で減少(計画なしへ)、サービス業では増加となっている。

表一2 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	16.1	6.2	15.6
建設業	11.5	16.0	8.0
小売業	11.9	9.1	0.0
サービス業	14.9	16.7	18.7

## (2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

### ① 売上額（完成工事額）

2019年12月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期(2019年9月調査)と比較して、製造業が△5ポイント悪化のマイナス9、非製造業は△3ポイント悪化のプラス7だった。先行きは製造業、非製造業共に今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業・小売業・サービス業で悪化、建設業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業・サービス業で全国以下、東北以上、建設業・小売業で全国・東北以下であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 19.8	△ 26.4	△ 30.4	△ 40.6	△ 32.2	△ 34.4
建 設 業	△ 2.3	△ 6.4	△ 21.5	△ 19.6	△ 34.6	△ 24.0
小 売 業	△ 35.4	△ 42.1	△ 45.1	△ 54.3	△ 49.9	△ 63.7
サービス業	△ 19.6	△ 25.2	△ 24.6	△ 29.9	△ 26.1	△ 27.7

### ② 採 算

宮城の今期の採算D Iも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・小売業で悪化、建設業・サービス業で改善となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業・建設業・小売業では全国・東北以下、サービス業では全国以下で、東北以上であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 21.2	△ 27.4	△ 31.3	△ 40.1	△ 35.4	△ 40.7
建 設 業	△ 9.1	△ 12.2	△ 22.8	△ 21.6	△ 42.3	△ 40.0
小 売 業	△ 32.0	△ 35.2	△ 42.9	△ 44.8	△ 42.8	△ 61.4
サービス業	△ 21.4	△ 25.7	△ 28.4	△ 33.5	△ 40.0	△ 30.5

### (3) 今後の見通しについて

#### ① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2020年1月～3月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で18.7ポイントの改善、建設業で△8.0ポイントの悪化、小売業で11.3ポイントの改善、サービス業でも4.3ポイントの改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で横ばい、建設業で4.0ポイントの改善、小売業で6.9ポイントの改善、サービス業で6.6ポイントの改善見通しとなった。

#### ② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国、宮城で改善、採算では全国で改善、宮城では横ばいの見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城でも悪化、採算は全国で悪化、宮城では改善の見通しとなった。小売業では売上は全国、宮城で改善の見通し、採算でも全国、宮城で改善の見通しとなった。サービス業でも、売上、採算ともに全国、宮城で改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 26.4	△ 20.9	△ 34.4	△ 15.7
建 設 業	△ 6.4	△ 8.7	△ 24.0	△ 32.0
小 売 業	△ 42.1	△ 36.4	△ 63.7	△ 52.4
サービス業	△ 25.2	△ 22.1	△ 27.7	△ 23.4

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製 造 業	△ 27.4	△ 24.5	△ 40.7	△ 40.7
建 設 業	△ 12.2	△ 13.5	△ 40.0	△ 36.0
小 売 業	△ 35.2	△ 31.6	△ 61.4	△ 54.5
サービス業	△ 25.7	△ 24.6	△ 30.5	△ 23.9

## 2. 県下産業別の景況

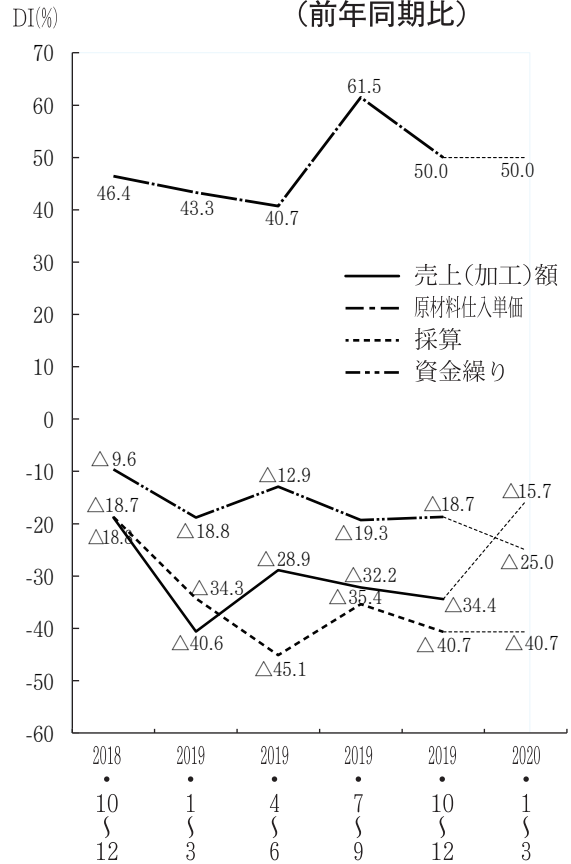
### (1) 製造業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△34.4（前期△32.2）となり△2.2ポイント前期より悪化、採算D Iは今期△40.7（前期△35.4）で△5.3ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△18.7（前期△19.3）で0.6ポイントの若干の改善となった。

原材料仕入単価は今期50.0（前期61.5）と△11.5ポイント下落した。

図1-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



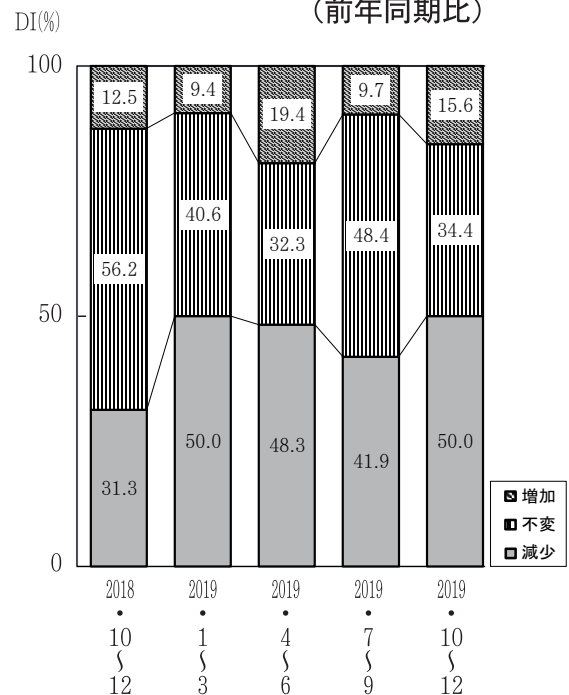
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の15.6%（前期9.7%）と5.9ポイント増加、「減少」と回答した企業も50.0%（前期41.9%）と△8.1ポイント増加した。

その結果、売上（加工）額D Iは△34.4（前期△32.2）となり前期比△2.2ポイント悪化した。

図1-2 売上(加工)額の状況  
(前年同期比)

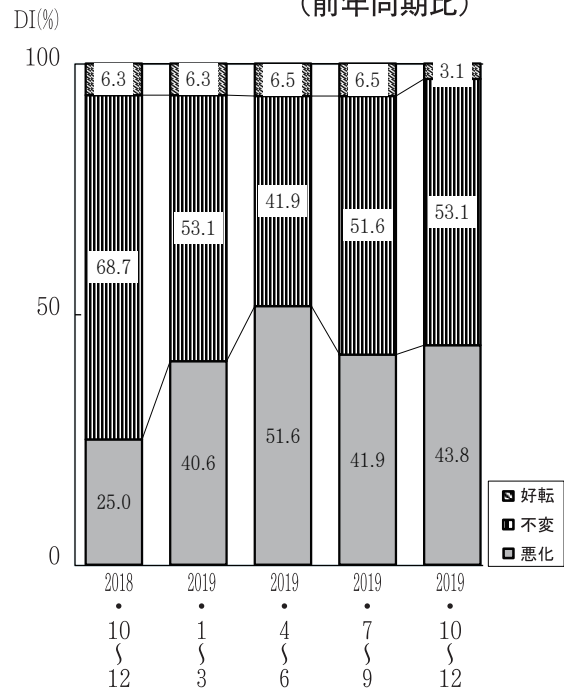


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 3.1% (前期 6.5%) で△3.4 ポイント減少、「悪化」と回答した企業は 43.8% (前期 41.9%) で 1.9 ポイント増加した。

その結果、採算 D I は△40.7 (前期△35.4) で前期より△5.3 ポイント悪化した。

図 1 - 3 採算の状況 (前年同期比)



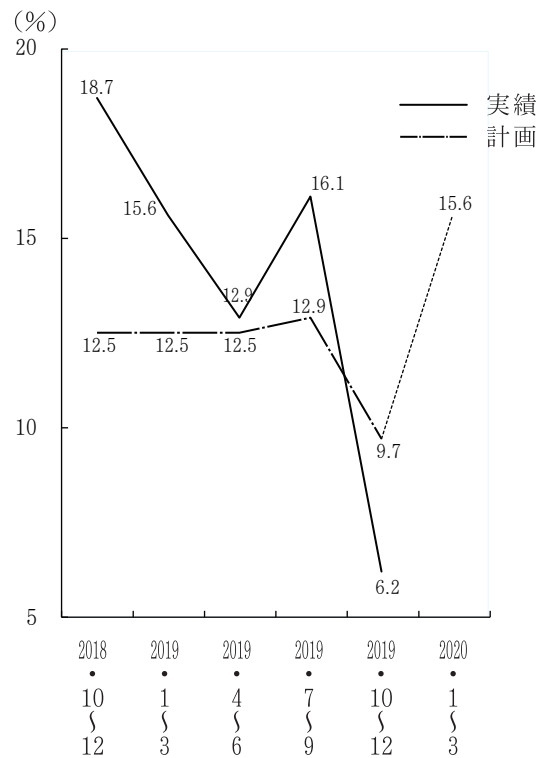
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の 6.2% (前期 16.1%) で、前期と比べ△9.9 ポイント減少した。

その設備内容は、生産設備であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 15.6%で、その設備内容は、生産設備、付帯施設、OA機器となっている。

図 1 - 4 設備投資の状況

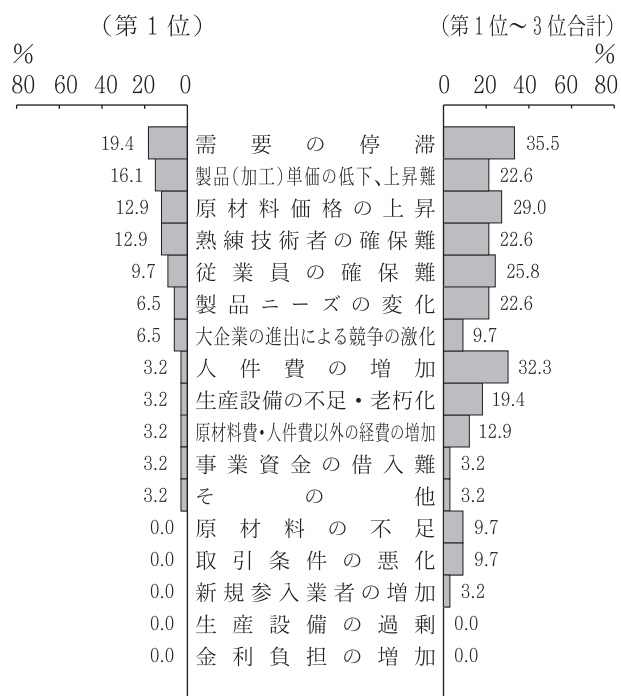


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で19.4%、次いで「製品（加工）単価の低下、上昇難」が16.1%、「原材料価格の上昇」と「熟練技術者の確保難」が同率12.9%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が35.5%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「人件費の増加」が32.3%、「原材料価格の上昇」が29.0%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



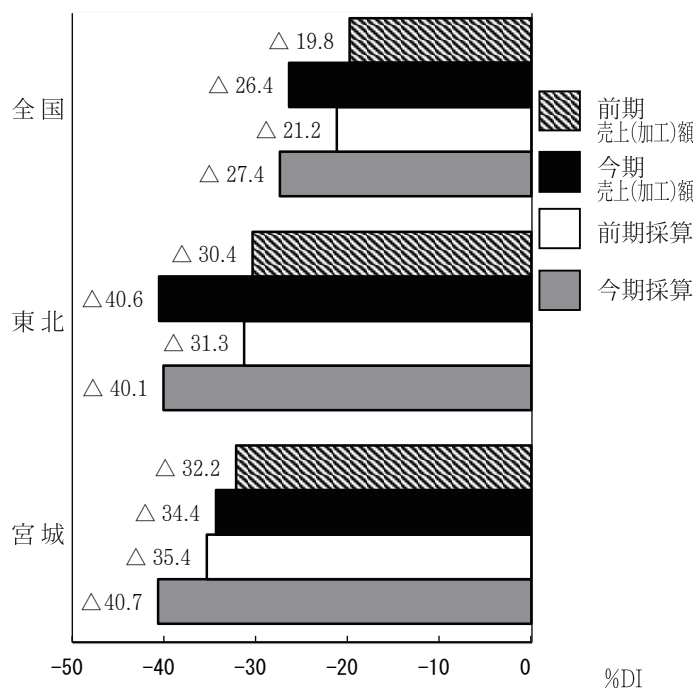
### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上（加工）額D Iでは全区分で悪化した。その悪化度は、東北、全国、宮城の順であった。

採算D Iの比較でも全区分で悪化した。その悪化度は、東北、全国、宮城の順であった。

本県回答事業者からは「省力化に向けた発注が増加傾向」（金属加工業）や、「従業員の確保が困難」（電子機器部品製造業）などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上（加工）額・採算比較（前年同期比）





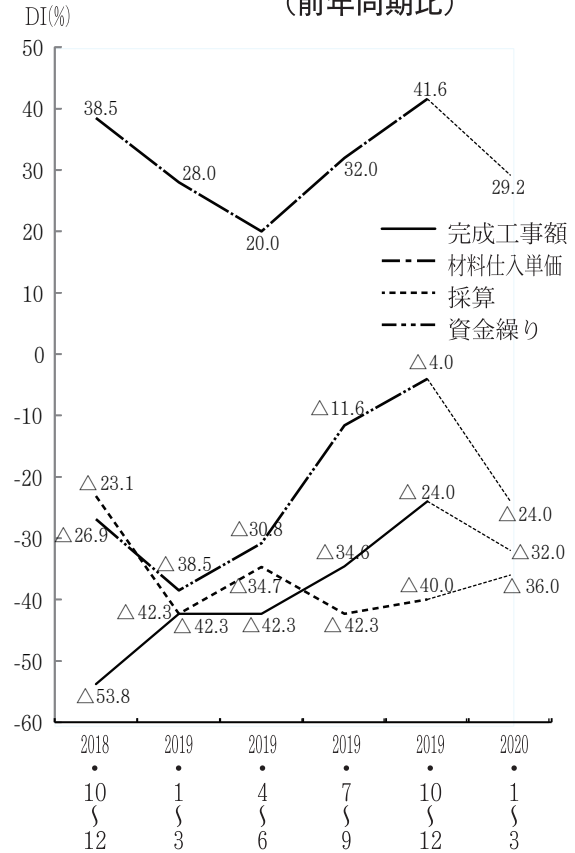
## (2) 建設業の動向

### ① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△24.0（前期△34.6）と10.6ポイント改善、採算D Iは今期△40.0（前期△42.3）で2.3ポイント改善、資金繰りD Iも今期△4.0（前期△11.6）と7.6ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期41.6（前期32.0）と前期より9.6ポイント上昇した。

図2-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



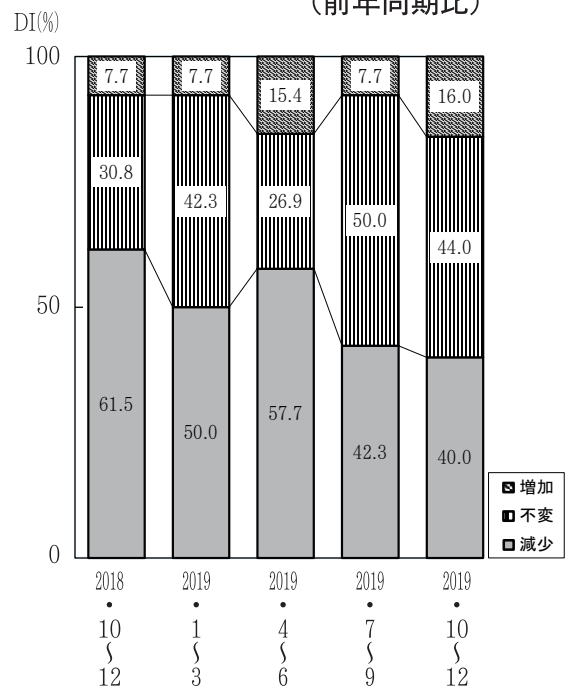
### ② 主要景況項目別状況

#### (a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の16.0%（前期7.7%）で8.3ポイント増加、「減少」と回答した企業は40.0%（前期42.3%）で△2.3ポイント減少した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△24.0（前期△34.6）と10.6ポイント改善した。

図2-2 完成工事額の状況  
(前年同期比)

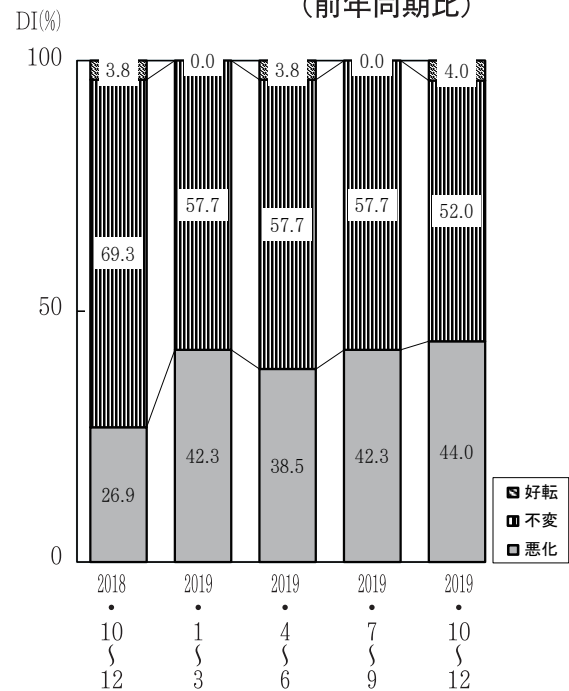


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 4.0% (前期 0.0%) で 4.0 ポイント増加、「悪化」と回答した企業も全体の 44.0% (前期 42.3%) で 1.7 ポイント増加した。

その結果、採算DIは△40.0 (前期△42.3) と前期より 2.3 ポイント改善した。

図 2 - 3 採算の状況  
(前年同期比)



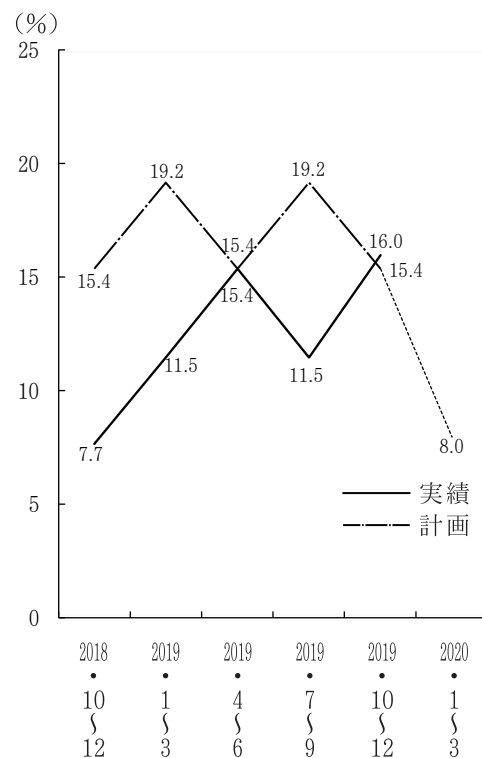
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は全体の 16.0% (前期 11.5%) で、前期より 4.5 ポイント増加した。

その設備内容は、車両・運搬具であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 8.0% で、その設備内容は、建物、建設機械、車両・運搬具、OA機器となっている。

図 2 - 4 設備投資の状況

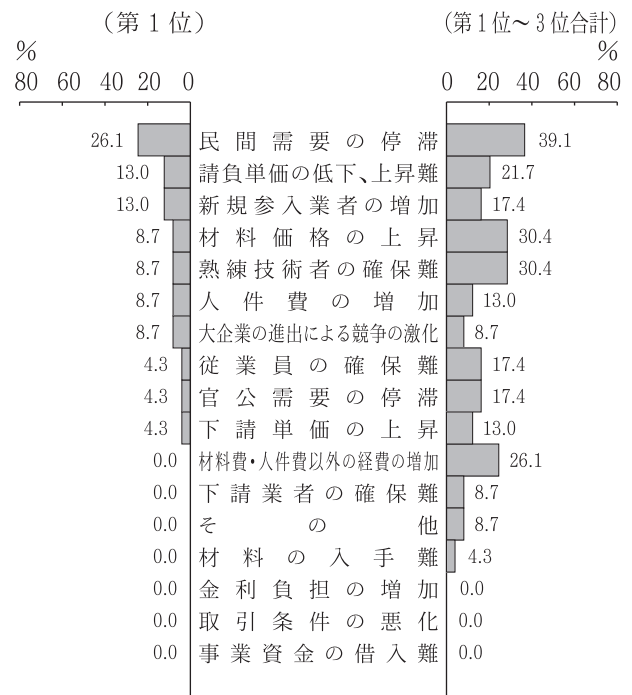


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が26.1%で、次いで「請負単価の低下、上昇難」と「新規参入業者の増加」が同率13.0%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が39.1%（複数回答計、以下同じ）で最上位、次いで「材料価格の上昇」と「熟練技術者の確保難」が同率30.4%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額D I は全国で悪化、東北、宮城で改善した。

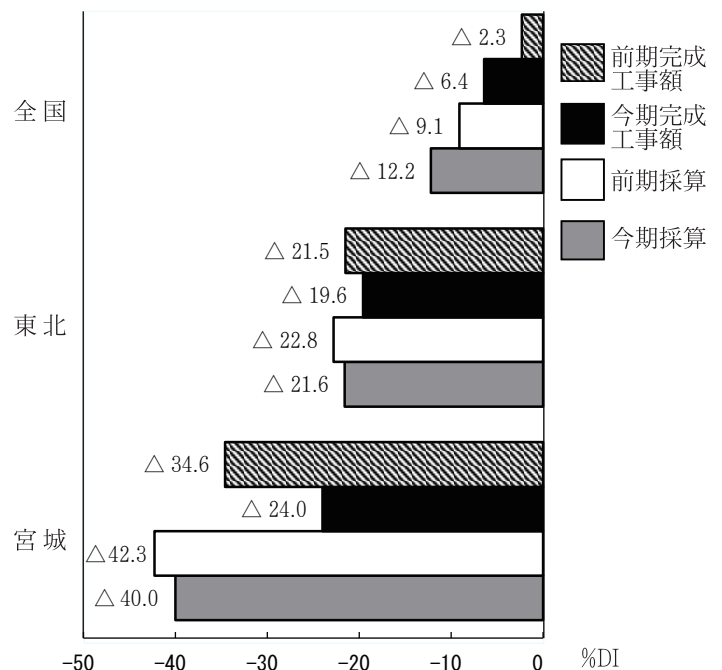
その改善度は宮城、東北の順であった。

採算D Iの比較でも、全国で悪化、東北、宮城で改善した。

その改善度も宮城、東北の順であった。

本県回答事業所からは「新築工事が少なく、リフォームで繋ぐ」や「今のところ消費増税の影響は予想よりは小さい模様」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



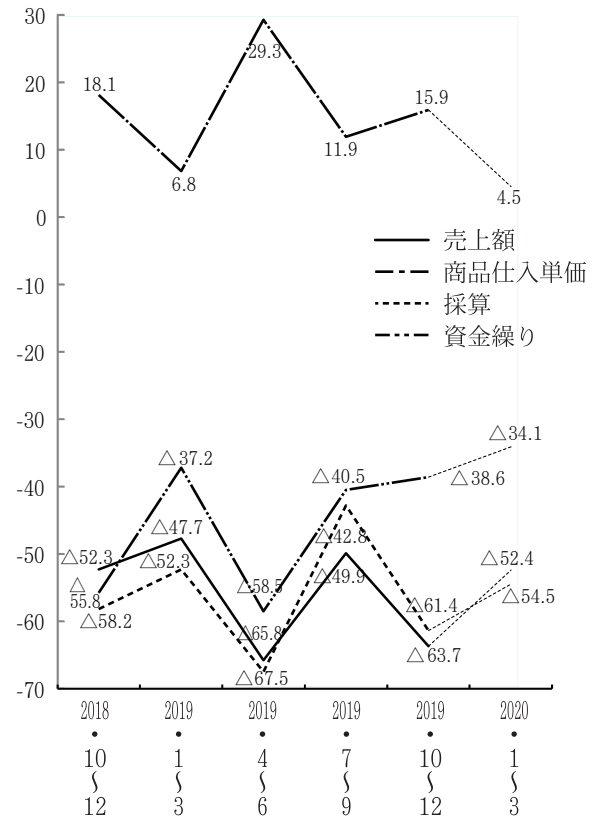
### (3) 小売業の動向

#### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△63.7（前期△49.9）と前期より△13.8ポイント悪化、採算D Iも今期△61.4（前期△42.8）で△ 18.6ポイント悪化、資金繰りD Iでは今期△38.6（前期△40.5）で1.9ポイント改善した。

商品仕入単価D Iは今期 15.9（前期 11.9）となり、4.0ポイント上昇した。

図3-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



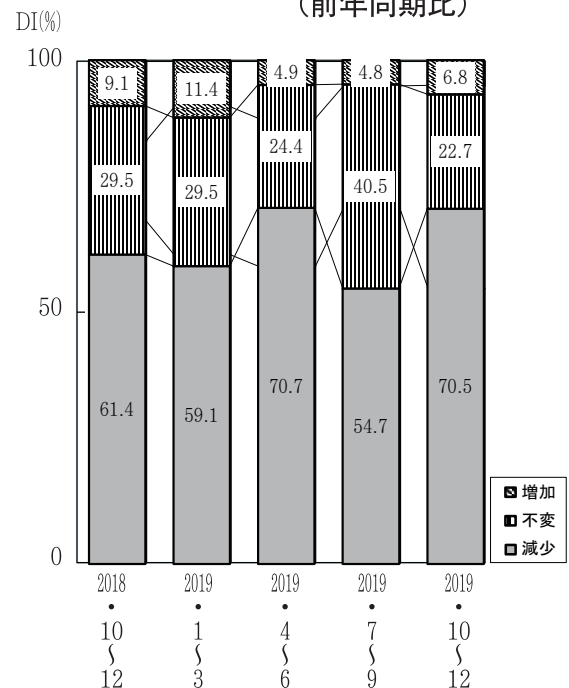
#### ② 主要景況項目別状況

##### (a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の6.8%（前期4.8%）で2.0ポイントの増加、「減少」の回答も、今期は全体の70.5%（前期54.7%）で15.8ポイント増加した。

その結果、売上額D Iは今期△63.7（前期△49.9）と前期より△13.8ポイント悪化した。

図3-2 売上額の状況  
(前年同期比)

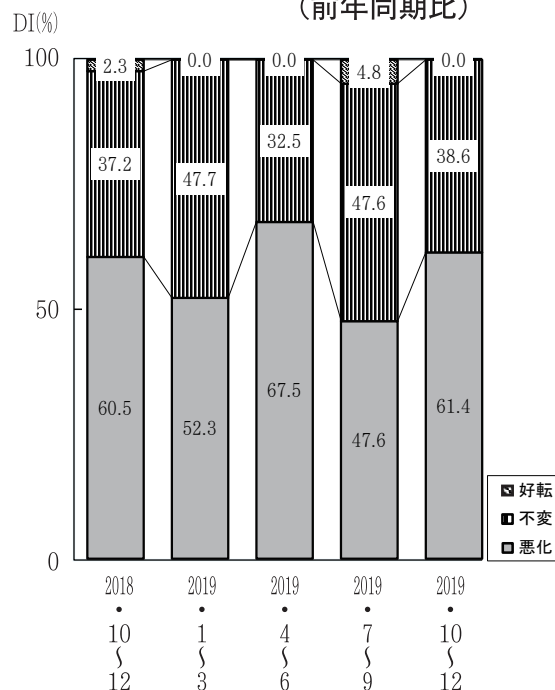


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の0.0%（前期4.8%）と△4.8%減少、「悪化」の回答は、今期は全体の61.4%（前期47.6%）で13.8ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△61.4（前期△42.8）で、前期より△18.6ポイント悪化した。

図3-3 採算の状況  
(前年同期比)



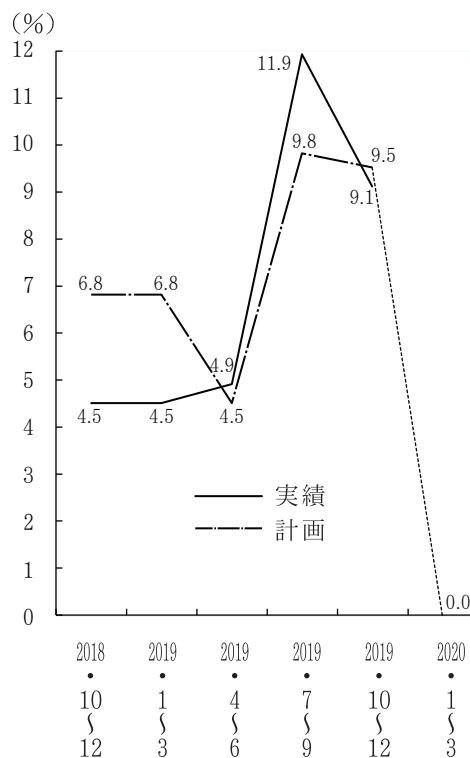
### (c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の9.1%（前期11.9%）で、前期より△2.8ポイント減少した。

その設備内容は、店舗、販売設備、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は0.0%（計画無し）となっている。

図3-4 設備投資の状況

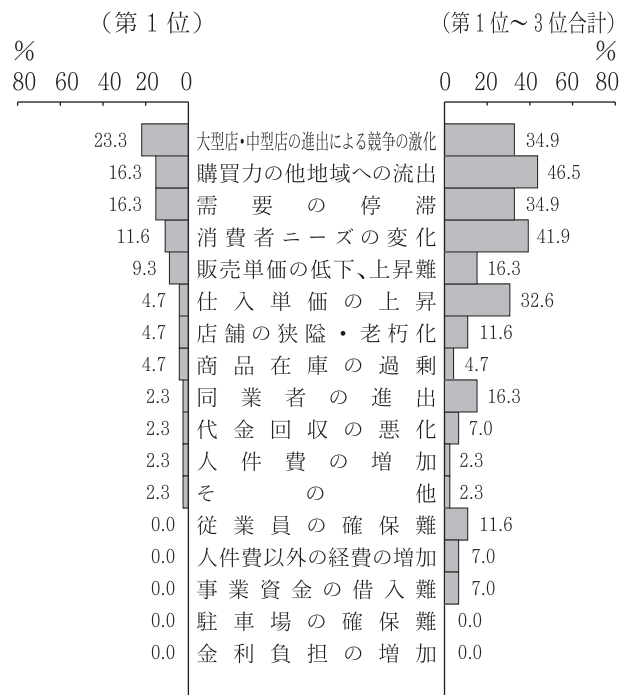


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「大型店・中型店の進出による競争の激化」で23.3%、次いで「購買力の他地域への流出」と「需要の停滞」が同率16.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計では、「購買力の他地域への流出」が46.5%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「消費者ニーズの変化」が41.9%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」と「需要の停滞」が同率34.9%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県

#### の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全区分で悪化した。

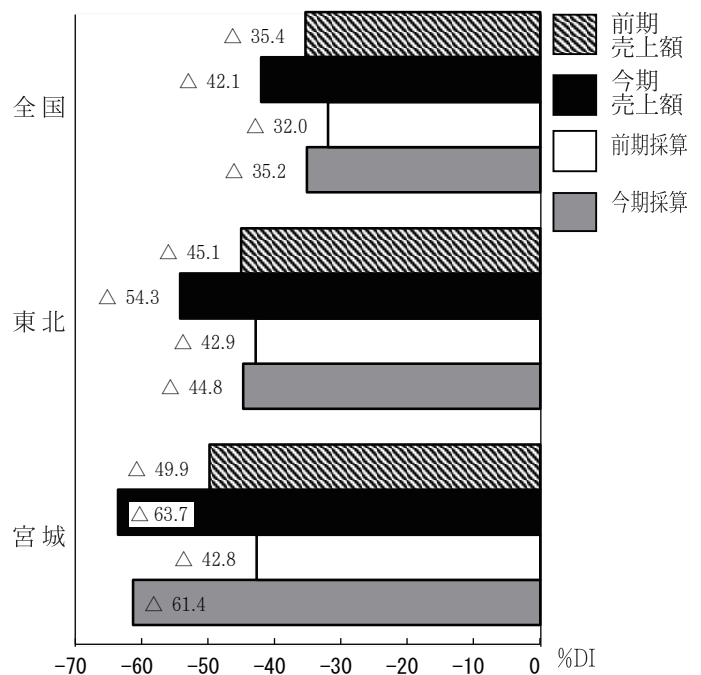
その悪化度は宮城、東北、全国の順であった。

採算DIでも全区分で悪化した。

その悪化度は宮城、全国、東北の順であった。

本県回答事業所から「大型店にない魅力を見つけ業況が好転するよう努力する」（雑貨販売）や「台風19号により商品水没等の被害で休業を余儀なくされたが、来期には冬らしい冬を期待し、売り上げの回復に期待」（靴販売）などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較（前年同期比）



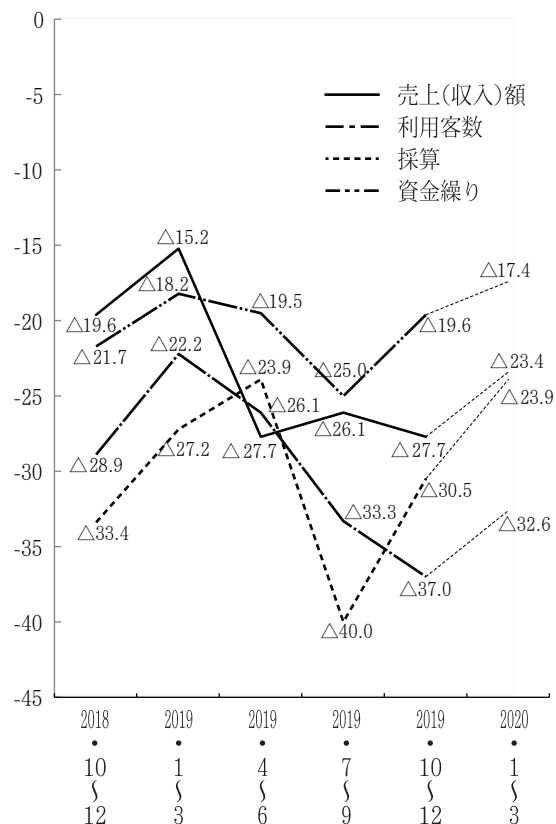
#### (4) サービス業の動向

##### ① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△27.7（前期△26.1）で△1.6ポイント悪化、採算D Iは今期△30.5（前期△40.0）で9.5ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△19.6（前期△25.0）で5.4ポイント改善した。

利用客数D Iは今期△37.0（前期△33.3）で△3.7ポイント減少した。

図4-1 主要景況項目の推移  
(前年同期比)



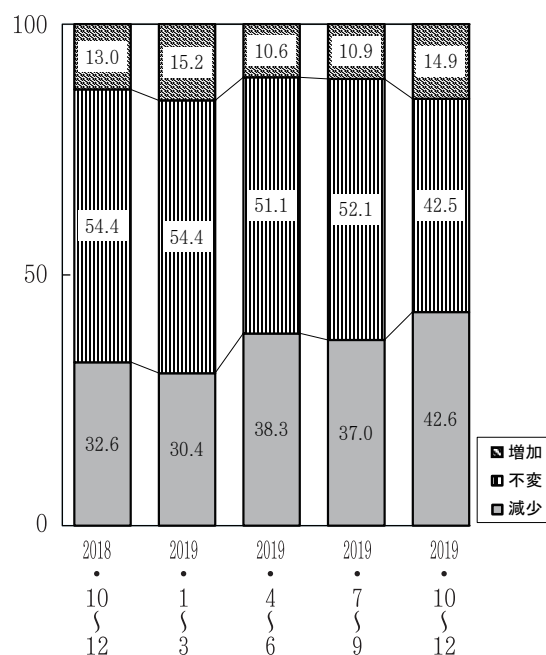
##### ② 主要景況項目別状況

###### (a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の14.9%（前期10.9%）で前期より4.0ポイント増加、「減少」の回答も今期42.6%（前期37.0%）で5.6ポイント増加した。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△27.7（前期△26.1）で前期より△1.6ポイント悪化した。

図4-2 売上（収入）額の状況  
(前年同期比)

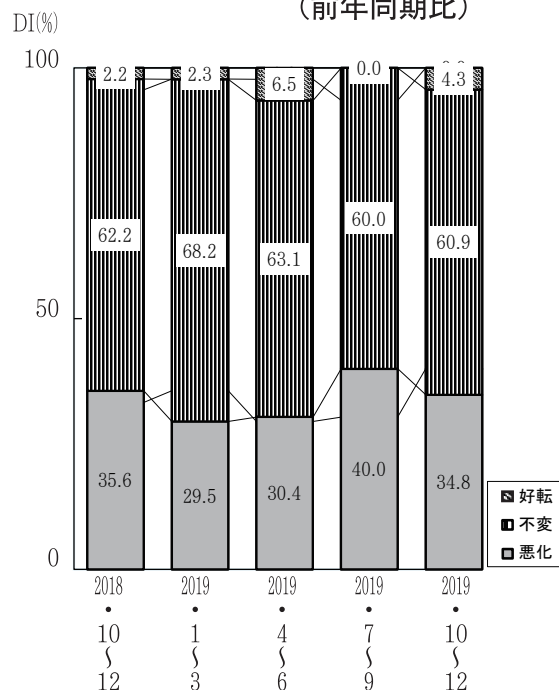


### (b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の4.3%（前期0.0%）で4.3ポイント増加、「悪化」と回答した企業は今期34.8%（前期40.0%）と△5.2ポイント減少した。

その結果、採算DIは今期△30.5（前期△40.0）で前期より9.5ポイント改善した。

図4-3 採算の状況  
(前年同期比)



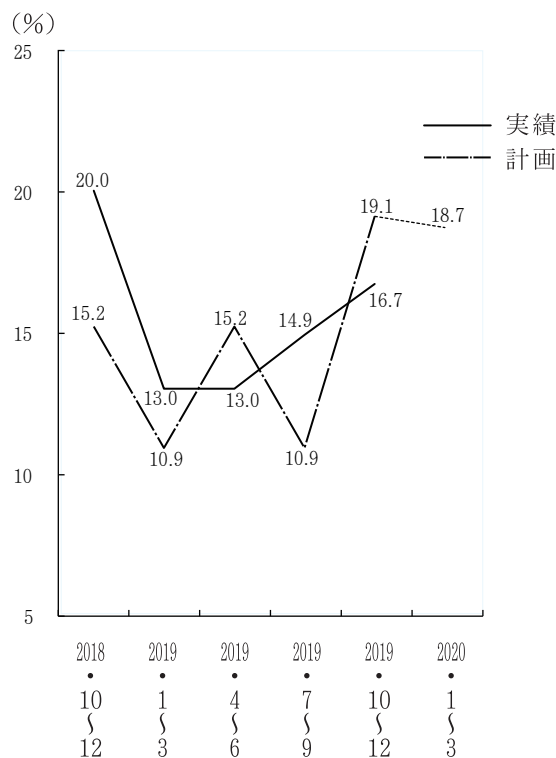
### (c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施（実績）した企業は全体の16.7%（前期14.9%）で、前期より1.8ポイント増加した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、OA機器、その他であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の18.7%で、その設備内容は、土地、建物、サービス、付帯施設、福利厚生施設、その他となっている。

図4-4 設備投資の状況



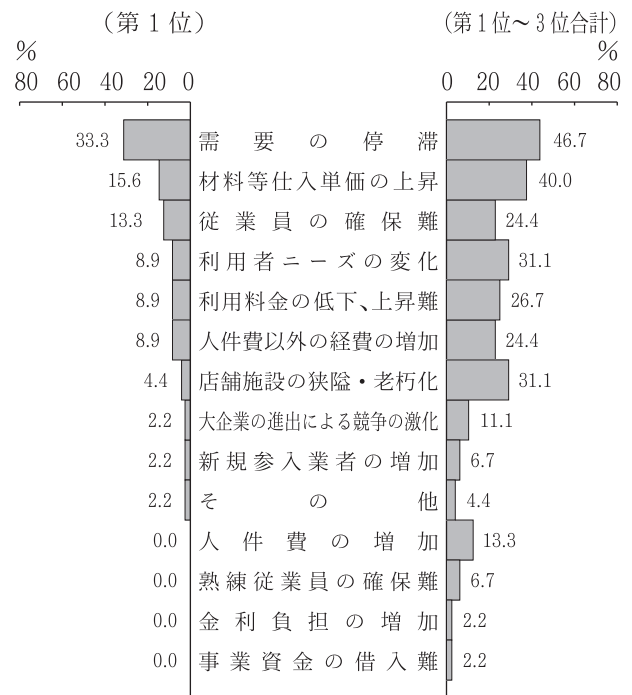


### (d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が33.3%で、次いで「材料等仕入単価の上昇」が15.6%、「従業員の確保難」が13.3%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が46.7%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、「材料等仕入単価の上昇」が40.0%、「利用者ニーズの変化」、「店舗施設の狭隘・老朽化」が同率31.1%で続いた。

図4-5 経営上の問題点



### ③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

#### の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全区分で悪化した。

その悪化度は全国、東北、宮城の順であった。

採算DIでは、全国、東北で悪化、宮城で改善した。

その悪化度は東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「自社提供のサービスを見直し、より良いサービスにする」(宿泊業)や「開廃業が激しい業種で、顧客確保の苦労大」(理美容業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

